

平成22年4月教育委員会会議の要旨

議 案

議案第1号『文化財の県指定について』

【概要】

標記の無形民俗文化財の指定について、下記のとおり指定することについて審議され、承認された。

記

名 称	保 持 団 体	
	名 称	事務所の所在地
山崎八幡宮の本山神事	山崎八幡宮本山神事保存会	周南市

議案第2号『山口県スポーツ振興審議会委員の任免について』

【概要】

標記の審議会委員について、4月異動に伴う下記の委員の任免について審議され、承認された。

記

<行政の部>

旧 吉田 師郎 → 新 岩城 精二 (4月28日付け)

報 告 事 項

◆『平成22年度全国学力・学習状況調査の概要』について、報告された。

【概要】

4月20日(火)に実施された平成22年度全国学力・学習状況調査について報告したもの。

《主な内容》

- 今年度から抽出調査となったが、抽出対象校及び希望利用校あわせて、調査対象児童生徒(小学校第6学年、中学校第3学年)が在籍するすべての公立小中学校が参加した。調査対象児童生徒数は約25,000人。
- 実施教科は、国語及び算数・数学。
- 採点は、抽出対象校は国で実施し、希望利用校は市町教育委員会において採点・集計の方法を検討し、実施。県教委は採点に係る留意点を示し、集計用ソフトを提供。
- 今年7月中下旬以降、文部科学省より結果が公表される予定。

- 本年度の特徴として、より一層、基礎基本を重視しながら、活用する力を求める内容が多く出題されている。

【 質 疑 】

質問) 調査が、抽出校だけでなく希望する学校とあわせて100%実施されたのは良かった。費用について、抽出校と希望校で負担が異なるのか。

回答) 抽出校は負担はかかからない。希望校については、採点に予算を組んだ市町教委が若干ある。学校で基本的に採点するが、市町教委の指導主事も手伝う等、学校への負担は軽減するよう努力されている。

質問) 県教委から市町教委に調査に参加するよう働きかけしたのか。

回答) 各市町に働きかけはしていない。これまでの課題解決のために努力してきた成果、指導の継続という観点から、市町教委が自ら手を挙げられたということ。

質問) 希望利用校の採点はどのように扱うのか。

回答) 抽出校の結果は山口県の結果として公表する。希望利用校については、採点の細かいところが異なるので、県のデータとして公表することは考えていない。

質問) 現場の教員の負担が大きくなるのが危惧される。資料にある人的支援はどのようにされるのか。

回答) 県教委から人を出して欲しいという依頼があれば対応する。

◆『平成22年3月新規高等学校卒業生求人、求職状況等』について、報告された。

【概要】

平成22年3月末時点の新規高等学校卒業生に係る求人・求職状況を山口労働局のデータから分析・報告したもの。

《主な内容》

- 求人数は、去年同期と比べ3,675人減の5,949人、就職希望者は516人減の2,858人で大きく減少している。
- 就職内定率は、去年同期と比べ0.2ポイント下落し、98.0%
- 未内定者数は、58人で去年同期と同程度であるが、男子が製造業の求人の大幅減少の影響により、24人に増加。

《平成22年度の就職支援対策》

- 「ガイダンスの充実」：生徒や保護者に対する職業選択の相談活動や就職ガイダンスの開催、県内就職支援員の9名配置。
- 「求人開拓の強化」：緊急求人開拓員を8名配置し、就職指導専門員や県内就職支援員と連携を図る
- 「マッチングの促進」：就職内定に至らない高校生を対象に就職説明会を県内各地で実施。
- 昨年度設置した「高校生緊急就職対策プロジェクトチーム」を中心に関係課と連携しながら早期に内定が得られるようきめ細やかな支援を断続的に実施

【 質 疑 】

質問) 男子と女子、どちらが未就職が多いのか。

回答) 未就職者58名のうち、男子24名、女子34名。例年に比べて、やや男子が多い状況。

質問) 全体で、どのくらいの割合の生徒が就職を希望するのか。去年と比べてどうか。

回答) 就職の率は30%前後。就職が厳しいため進学に変わった生徒が増えている。

質問) 来年も同様の傾向なのか

回答) 生徒が希望を変えなければならないという状況は避けたいので、早めの求人対策や就職対策支援を進めていきたい。

質問) 離職率は調べているのか。経年的な傾向はいかがか。

回答) 全国に比べて、山口県の離職率は低い。以前と比較しても、徐々に離職率は下がってきている。

◆『平成22年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査得点状況』について、報告された。

【概要】

平成22年度入学者選抜実施状況の概要と、平成22年3月9日(火)に実施された標記の学力検査の結果について報告したもの。

《主な内容》

- 実施教科：国語、社会、数学、理科及び英語
実施時間：各教科とも50分
配点：各教科50点満点、計250点満点
- 「得点合計」の平均点は146.5点(最高240点)
- 各教科別の平均点 国語：30.3点、社会：28.6点、数学：29.3点、理科：30.4点、英語：27.9点
- 全日制課程入学定員は9,070人、推薦入学合格者は2,371人。一次募集の定員6,699人に対して8,477人が志願し、8,193人が学力検査を受験し、第一次募集の合格者は推薦入学合格者を含めて8,608人となった。
- 第二次募集は、462人の定員に対して246人が志願し、最終的に154人が合格。よって全日課程における全体の合格者数は8,762人。
- 定時制課程は、定員600人に対して第一次募集で258人が志願し、242人が受験し、173人が合格。
- 第二次募集は、427人の定員に対して114人が志願し、50人が合格。よって定時制課程における全体の合格者数は223人

《結果の総評》

- 基礎的・基本的な学習の成果は平素の学習の成果がよく表れていたが、基礎的・基本的な事項を活用し、筋道を立てて考え、課題を解決し表現する力を見る問題については、さらに努力が必要である。

- 学習に対する興味・関心や有用感を持つとともに、知識・技能を活用して課題を解決し、表現する力を身に付けるよう、学習内容と生活場面・実社会とのつながりを考えながら学習することが大切である。

【 質 疑 】

質問) 定時制課程、入学定員と志願者に差があるが、今後の見通しは。

回答) 全県的に高校の再編計画を進めているので今後検討する必要がある。また、定員に空きがあるが不合格になっている状況もあるが、高校教育を受けるに足る能力や意欲を校長が判断し、厳正公正に選抜をしていると考えている。

◆ 『山口県指定無形文化財保持者の認定解除』について、報告された

【概要】

萩焼保持者の 坂田泥華 氏が平成22年2月24日に亡くなられたため、平成22年4月6日付け山口県教育委員会告示第3号により保持者の認定解除を告示したことを報告したものの。